

(2021年 茨城県公立入試 類似)

- (2023年 佐賀県公立入試 類似)

- (2026年 北海道公立入試 類似)

- 千葉県公立入試 類似)

- (2024年 兵庫県公立入試 類似)

- (2021年 宮城県公立入試 類似)

- (2020年 千葉県公立入試 類似)

- (2024年 茨城県公立入試 類似)

- (2024年 青森県公立入試 類似)

- 島根県公立入試 類似)

-

(2021年 愛知県公立入試 類似)

- (2023年 長崎県公立入試 類似)

- (2020年 三重県公立入試 類似)

- いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 4 新橋・横浜間	明治政府は近代化を推し進めるため、イギリスの技術と資金の援助を受けて鉄道建設を開始しました。1872年、首都である東京の拠点となっていた新橋と、貿易港として重要な役割を果たしていた横浜を結ぶ路線が、日本初の鉄道として正式に開業しました。
問2	答え 2 郵便制度が整えられ、電信が開通した	明治政府は中央集権的な国家体制を築き、産業を発展させるために、情報の迅速な伝達を重視しました。1871年に始まった郵便制度と、1869年に東京・横浜間で開通しその後全国に広がった電信は、教育制度の整備と並んで近代日本の基礎を築く重要な役割を担いました。ラジオ、電話の普及、テレビなどは、明治初期の近代化以降の出来事です。
問3	答え 4 君主である天皇の権限が強い仕組みが、当時の日本の統治体制に適していると考えたため。	伊藤博文はヨーロッパへ渡り、プロイセン（ドイツ）の政治家ビスマルクらから助言を受けました。当時のプロイセン憲法は君主権が非常に強く、急速な近代化を進める日本にとって、天皇を中心とした中央集権体制を整える上で最適なモデルであると判断されました。
問4	答え 2 工業製品の市場や資源の供給地を求め、軍事力を背景に植民地を拡大した。	当時の列強諸国にとって、植民地は「工業製品の販売市場」としての役割と、綿花や鉱物資源などの「原料の供給地」としての役割を併せ持っていました。これらを独占的に確保するために、圧倒的な軍事力を利用して他国を制圧し、支配下に置く政策がとられました。
問5	答え 2 陸奥宗光	日清戦争が勃発する直前の1894年、外務大臣の陸奥宗光はイギリスとの交渉により領事裁判権の撤廃を実現しました。これには、当時の日本が大日本帝国憲法を發布し、法典を整備するなど、近代国家としての体制を整えていたことが大きく影響しています。一方、小村寿太郎は1911年に関税自主権の完全回復を成し遂げた人物です。
問6	答え 3 民撰議院設立の建白書の提出や、各地での私擬憲法の作成に向けた議論	郵便制度によって新聞や雑誌が各地に届くようになったことで、1874年の民撰議院設立建白書の提出をきっかけとした自由民権運動の議論が全国に波及しました。各地の結社が自分たちで憲法案（私擬憲法）を考えたり、西南戦争などの時事情報が共有されたりするなど、郵便制度は政治的な意識を国民の間に広める重要な役割を担いました。他の選択肢は政府主導の制度改革であり、情報伝達の普及による議論の広がりを直接示すものではありません。
問7	答え 3 大隈重信によって立憲改進黨が結成され、穏健な改革が主張された。	国会開設の勅諭（1881年）によって10年後の国会開設が約束されると、国会開設に備えて政党が次々と結成されました。大隈重信が立憲改進黨を結成したのは1882年であり、国会期成同盟が活動していた1880年よりも後、かつ憲法が發布される1889年よりも前の時期に該当します。立憲政友会が結成されるのは1900年であり、憲法發布よりも後の出来事です。
問8	答え 2 日清戦争の約6倍に達する8.5万人もの死者を出し、巨額の戦費を投じたにもかかわらず、賠償金が一切得られなかったから。	日清戦争では約2億円の戦費に対し、当時の国家予算の数倍にあたる2億両（約3.1億円）の賠償金を得ることができました。一方、日露戦争では戦費が約18.7億円（日清戦争の約9倍）に膨れ上がり、死者数も約8.5万人（日清戦争の約6倍）と激増していました。国民はこれほどの大きな犠牲を払った以上、当然日清戦争の時のような多額の賠償金が得られると期待していましたが、実際には1円も得られなかったことが、講和への強い反発を招く直接的な背景となりました。
問9	答え 3 日朝修好条規	江華島事件を口実に結ばれたこの条約は、日本が欧米から押し付けられたのと同様の手法を用いて朝鮮に結ばせた不平等条約です。選択肢にある「日清修好条規」は日本と清の間で結ばれた対等な条約であり、「下関条約」は日清戦争の講和条約であるため、時代や締結国が異なります。
問10	答え 1 西洋の進んだ機械や技術を導入し、それを民間に広めることで日本の近代産業を育成しようとした。	明治政府は「殖産興業」を掲げ、日本の近代化を急ぎました。富岡製糸場のような官営模範工場は、単に製品を作る場所ではなく、西洋の最新技術を実演・教育する拠点としての役割を担っていました。全国から集まった若い女性（工女）たちがここで蒸気機関による製糸技術を学び、地元に戻ってその技術を伝えたことで、日本全体の製糸業のレベルが向上しました。
問11	答え 2 岡倉天心がフェノロサとともに日本画の復興や文化財の保護に努め、東京美術学校の設立に関わった。	文明開化による極端な西洋化が進む中で、日本の伝統美術は破壊されたり軽視されたりする危機にありました。岡倉天心はアメリカ人のフェノロサと共に、古美術の調査や保護、そして伝統的な技法を活かした新しい日本画の創造に取り組みました。この動きは、日本のアイデンティティを保ちながら近代化を進めようとする文化的な抵抗と再生の側面を持っています。
問12	答え 4 自由民権運動	明治政府が一部の有力な藩の出身者だけで政治を動かしている「有司専制」の状態を批判し、国民の意見を反映させる仕組みを求めて始まった運動です。板垣退助らが中心となり、全国で演説会や政社の結成が行われ、のちの国会開設や大日本帝国憲法の發布につながる重要な役割を果たしました。
問13	答え 1 日本が千島列島を領有し、ロシアが樺太を領有する	江戸時代末期から、樺太（サハリン）では日本人とロシア人が混住する不安定な状態が続いていました。明治政府は国内の近代化や不平等条約の改正交渉に注力するため、北方の国境を早期に確定させる必要があると判断しました。その結果、1875年に樺太・千島交換条約を結び、それまで日本人が居住していた樺太をロシア領とする代わりに、千島列島の全域を日本領とすることで合意しました。